

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

◇「書くこと」に係る出題において、目的や意図に依拠して、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしたり、「読むこと」に係る出題において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて、よくできている。

◆「話すこと・聞くこと」に係る出題において、資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。

指導改善のポイント

【知識及び技能】

言葉の特徴や使い方に関する事項

○漢字を書くことについては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得し、文脈に即して漢字を正しく使うように指導することが大切である。また、ICT 端末を活用し文字を打つ活動を行う場合は、漢字が持つ意味に注意して適切に選択できるように漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことに留意する必要がある。

【思考力、判断力、表現力等】

話すこと・聞くこと

○言語活動を行う際には、何のために、だれを対象に、どのような状況で話すのかを具体的に考えさせ、検討した内容がそれらに合っているかを判断することが必要である。聞き手に分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるよう指導することが重要である。また、資料や ICT 機器を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるよう工夫する能力がより重要である。そのような言語活動の機会を意図的・計画的に設定し指導を重ねることが大切である。

書くこと

○無回答率はどの問題も全国平均より低いが、漢字の誤りを見付けて正す問題については、無回答率が他の問題と比較して高かった。また、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることについて課題のある生徒が多くみられた。書いた文章を推敲する際に、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように指導することが大切である。読み手の立場に立って確かめる際には、音読するなどして叙述の仕方を整えることなども効果的である。また、ICT を活用して文章を書く時には、学習状況を振り返れるように、コメント機能などを活用して、訂正した理由を挙げたり、整えた箇所を消さずに残したりすることも効果的である。

読むこと

○文学的な文章の構成や展開について考えるためには、作品の構成を理解するだけでなく、登場人物の心情の変化に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握する力が求められる。その際に、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることが重要である。指導の際には、あとの展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動を協働的な学習に取り入れることが考えられる。文章の構成や展開の効果を生徒自身が実感できる場面を意図的に設けることが大切である。

